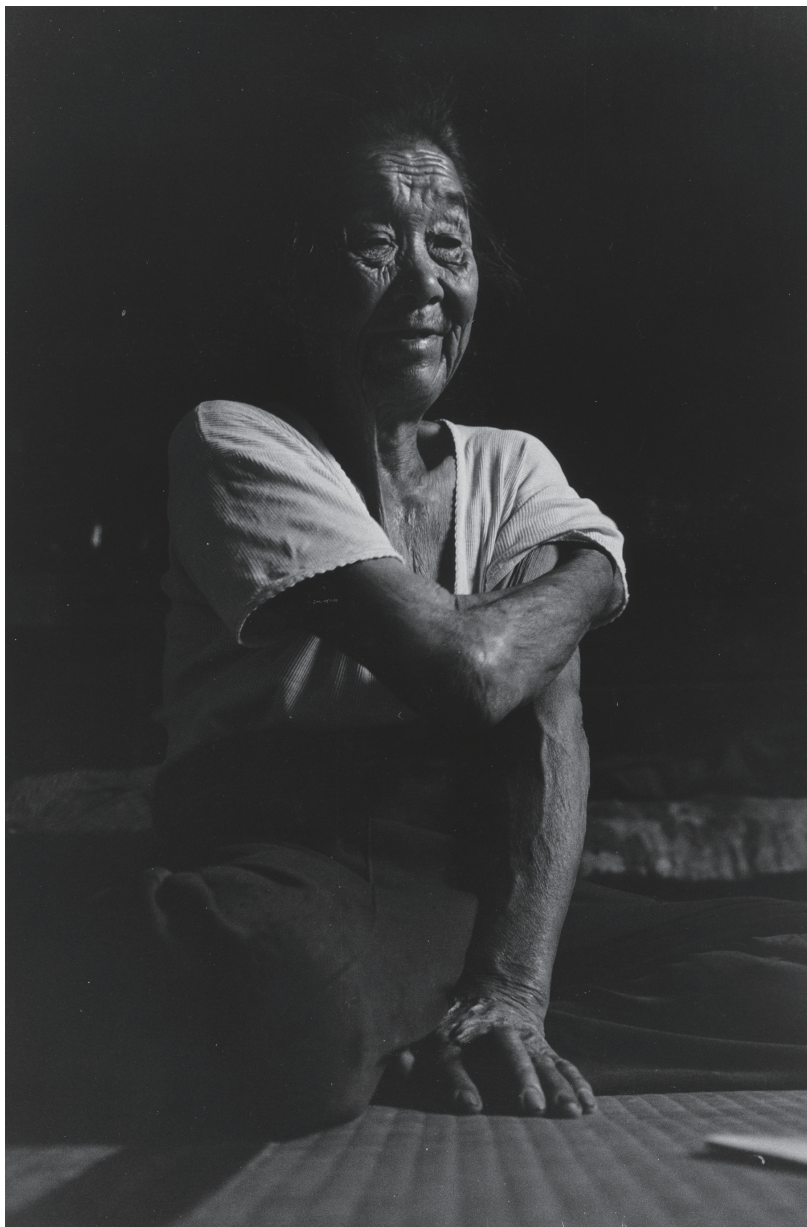


戦後・被爆80周年 日本被団協ノーベル平和賞受賞記念

世界ヒバクシャ展

原爆、核実験、原発事故、ウラン鉱山、劣化ウラン弾などによるヒバクシャの写真展



被爆者：藤原モトヨ 森下一徹撮影

戦後・被爆80周年 日本被団協ノーベル平和賞受賞記念「世界ヒバクシャ展」(主催：NPO 法人世界ヒバクシャ展)を佐賀県立美術館で開催します。

戦後・被爆80周年という節目の年のゴールデンウィークに、日本で報道されることがほとんどない世界中のヒバクシャを紹介するこの写真展にご来場ください。

展示されるのは、6人の日本人写真家(森下一徹、伊藤孝司、桐生広人、豊崎博光、本橋成一、森住卓)が撮影した、原爆、核実験、原発事故、ウラン鉱山、劣化ウラン弾などによる世界中のヒバクシャと核汚染の現場の写真です。

NPO 法人世界ヒバクシャ展の創設者、写真家の森下一徹は、広島、長崎の被爆者の写真を半世紀近く撮り続け、ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)にも数多くの写真を提供してきました。展示写真の中には、それらの写真も含まれています。

2025年 4月29日(火・祝)～5月6日(火・休)

開催時間 9時30分～18時 ※最終日は16時まで

会場 **佐賀県立美術館**

佐賀県佐賀市城内 1-15-23

検索 佐賀県立美術館 アクセス

入場
無料

主催 NPO 法人世界ヒバクシャ展



6人のフォトジャーナリストが みなさんが知らない世界のヒバクシャの メッセージを伝えます。

森下一徹、伊藤孝司、桐生広人、豊崎博光、本橋成一、森住卓

時には自らも被曝しながら、カメラを武器にレンズで核の恐怖に斬り込み、
隠された核の真実を明らかにしてきた6人のフォトジャーナリスト。
彼らが世界各地のヒバクシャの思いを捉えた写真を展示します。
皆さんがイメージされる広島、長崎の被爆者の写真とは異なり、
私たちと同じように人間として生きるヒバクシャの姿を伝える写真です。
この機会に、皆さん一人ひとりが、核や被ばくについて考えていただければ幸いです。



※被爆と被曝：「被爆者」は、爆撃によって被害を受けた人、「被曝者」は、放射線に曝（さら）された人、つまり、放射線を受けた（浴びた）人を意味します。
その両方を表すために「ヒバクシャ」とカタカナで表記しています。



森下一徹 被爆者：渡辺千恵子



森下一徹 被爆者：富永初子



伊藤孝司 韓国のヒロシマ



豊崎博光 聖地を守れ



桐生広人 核廃棄物海洋投棄



森住卓 セミパラチンスク核実験場



本橋成一 自由市場



森住卓 最後の一頭

ボランティア募集中

デザイン・伊勢功治

お問い合わせ先
080-3558-3369（安在）

世界ヒバクシャ展 HP

